



スノーボード バンクドスラローム(BSL)


小栗大地選手と市川貴仁選手が5位入賞！

日本からは6名の選手が出場し、小栗大地選手が7位、市川貴仁選手が8位に入賞しました。

【日本選手の成績】
▼LL1の部

7位 小栗 大地 (SB-LL1/愛知県、三進化学工業株式会社) 1分14秒42
 10位 小須田 潤太 (SB-LL1/埼玉県、株式会社オープンハウス) 1分16秒32
 [優勝:武 中偉(中国) 1分10秒85]

▼LL2の部

8位 市川 貴仁 (SB-LL2/埼玉県、エレマテック株式会社) 1分11秒31
 13位 岡本 圭司 (SB-LL2/兵庫県、牛乳石鯿共進社株式会社) 1分13秒38
 18位 田淵 伸司 (SB-LL2/兵庫県、兵庫県立和田山特別支援学校)
 [優勝:孫 奇(中国) 1分09秒73]

▼ULの部

13位 大岩根 正隆 (SB-UL/東京都、株式会社ベリサーブ) 1分14秒39
 [優勝:マクシム・モンタジョニ(フランス) 1分09秒41]



LL1: 下肢障害、LL2: 下肢障害、UL: 上肢障害

▼小栗 大地選手 一本目ちょっと攻めてやろうという気持ちが強すぎて、ラインが練習通りのラインで滑れずあんまりいいすべりができなかったんですが、2本目は基本的に忠実に落ちついて滑ることが出来て、途中ミスをしてしまったのですが、タイムを上げることが出来ていい滑りができたんじゃないかなと思います。平昌から4年間やってきてしっかり準備してきたつもりだったんですが、やはりまだ実力的にたくさん足りてないところがあるなと感じました。この経験を生かしてここから4年間頑張っていきたいと思っています。

▼小須田 潤太選手 今日のバンクドスラロームは自分のすべてが出し切れたと思います。また、北京パラを振り返ると、現在の結果が実力通りかと思いました。

▼市川 貴仁選手 表彰台目指してやって来たのですが、上位との2秒差がどうしても埋めれず、8位入賞という結果でした。ただバンクドスラロームに関しては、前から実力的に足りないと思うところはあったので、今大会の結果を踏まえて、次の四年後に向けて練習をしていきたいと思っています。また応援していただいた、多くの方々本当にありがとうございました。この大会を終えても、パラスノーボードの事を応援していただくと幸いです。スノーボード最高!!!

▼岡本 圭司選手 バンクドは、僕が今までこの数年間積み上げてきたものが重要視される要素が無く、軽視していた部分が多い求められたので、僕の認識が甘かったなと思っています。だからこそ、そこをもっと強く変えていかなければならないとしっかりと再確認しました。あとは、板の選び方であったり、ワックスであったり、体重であったり、力であったり、というところを今後伸ばしていこうと強く感じた一日でした。一方、今の自分が持っている一番いい滑りはできたので、悔いはありません。この4年間で甘く思っていたところが必要であると認識しました。ここが新たなスタートというつもりで次の4年間に向けて今回の課題をどれだけ高めていくのかということが求められていると思うし、死ぬほど悔しかったので、その悔しさを4年間忘れてはいけななと思いました。チームとしてここまで4年間やってきた中でチームビルディングが出来たと思うので、ここからはチームを作るというよりは、チームでどうやると早くなるかということを考えれば良いかなと思っています。

▼田淵 伸司選手 明らかに筋力不足が如実に結果に出たと思いますが、今出せるものは出しきったと思います。それでも、この結果は応援していただいた皆様に申し訳ない結果でした。スタート前の悪ふざけはこのチームならではなかったと思います。それを含めて最高のチーム全員でこのパラリンピックに出場出来たことに感謝いたします。今まで応援ありがとうございました。

▼大岩根 正隆選手 今日のバンクドスラロームはトレーニングランから本番にかけて、タイムをあげてきましたが、世界との差を感じました。今後は国際レベルの練習が必要であると切実に感じました。今回、パラリンピックに出場につなげてくれた全ての皆さんに感謝していて、夢の舞台上で出来ることはやり切ったと感じていて、達成感があります。